

第 108 回

2019 年 1 月～3 月期

「景況調査」



一般社団法人 福岡県中小企業家同友会

目次

1	回答者の属性	1
2	全体の景況判断	4
	（ア） 全体の景況感	4
	（イ） 各項目の状況	6
3	主要指標のクロス分析	12
	（ア） 景況感別の動向	12
	（イ） 業種別の動向	13
	（ウ） 従業員規模別の動向	13
	（エ） 本社地区別の動向	13
4	経営上の問題点	14
5	その他の調査項目	17
	（ア） 資金繰り	17
	（イ） 賃上げについて	18
	（ウ） 採用について	19
6	経営指針書について	21
7	自由回答項目	23
	（ア） 景況理由	23
	（イ） 新卒採用状況	29

1 回答者の属性

このアンケートを回答したのはどのような人々か

過去最低であった前々回より二期連続増加し 301 件であった。回収率は 13.7%。

第 108 回:調査時期:平成 31 年 3 月 1 日～3 月 31 日

回収数:301 件(平成 31 年 3 月 1 日付会員数 2,192 名、回収率 13.7%)

方法:edoyu アンケートシステム(Web)、及び FAX

回答方法		第107回		第108回		構成比増減
No.	カテゴリ	件数	割合%	件数	割合%	
1	WEB	223	75.3	245	81.4	6.1
2	FAX	73	24.7	56	18.6	-6.1
	サンプル数(%ベース)	296	296	301	301	5
1.業種		第107回		第108回		構成比増減
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	件数	(除不)%	
1	製造業(生産財)	19	6.4	23	7.6	1.2
2	製造業(消費財)	20	6.8	17	5.6	-1.2
3	建設業(建築)	31	10.5	33	11	0.5
4	建設業(土木)	7	2.4	11	3.7	1.3
5	建設業(設備)	15	5.1	14	4.7	-0.4
6	商業・流通業	32	10.8	31	10.3	-0.5
7	サービス業(対事業所)	100	33.9	102	33.9	0
8	サービス業(対個人)	71	24.1	70	23.3	-0.8
	不明	1	0	0	0	
	サンプル数(%ベース)	296	295	301	301	6
2.従業員数		第107回		第108回		構成比増減
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	件数	(除不)%	
1	0名～5名	105	35.6	121	40.2	4.6
2	6名～10名	61	20.7	64	21.3	0.6
3	11名～20名	44	14.9	40	13.3	-1.6
4	21名～30名	28	9.5	26	8.6	-0.9
5	31名～50名	15	5.1	17	5.6	0.5
6	51名～100名	24	8.1	17	5.6	-2.5
7	100名以上	18	6.1	16	5.3	-0.8
	不明	1	0	0	0	0
	サンプル数(%ベース)	296	295	301	301	6

3.本社所在地		第107回		第108回		構成比増減
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	件数	(除不)%	
1	福岡地区	198	66.9	207	68.8	1.9
2	北九州地区	35	11.8	27	9	-2.8
3	筑豊地区	37	12.5	35	11.6	-0.9
4	県南地区	21	7.1	25	8.3	1.2
5	福岡県外	5	1.7	7	2.3	0.6
	不明	0	0	0	0	0
	サンプル数(%ベース)	296	296	301	301	5
4.所属支部		第107回		第108回		構成比増減
No.	支部名	件数	(除不)%	件数	(除不)%	
1	東支部	20	6.8	12	4.0	-2.8
2	福博支部	16	5.5	13	4.3	-1.1
3	博多支部	29	9.9	49	16.3	6.4
4	中央支部	15	5.1	15	5.0	-0.1
5	西支部	14	4.8	14	4.7	-0.1
6	南支部	24	8.2	25	8.3	0.1
7	筑紫支部	10	3.4	12	4.0	0.6
8	福友支部	24	8.2	33	11.0	2.8
9	青年支部	11	3.8	5	1.7	-2.1
10	玄海支部	27	9.2	20	6.6	-2.6
11	かすや支部	7	2.4	9	3.0	0.6
12	糸島支部	5	1.7	3	1.0	-0.7
13	北九州支部	24	8.2	18	6.0	-2.2
14	ひびき支部	11	3.8	10	3.3	-0.4
15	のおがた支部	19	6.5	24	8.0	1.5
16	飯塚支部	12	4.1	9	3.0	-1.1
17	田川支部	5	1.7	5	1.7	0.0
18	久留米支部	7	2.4	11	3.7	1.3
19	大牟田支部	6	2.0	4	1.3	-0.7
20	有明支部	3	1.0	2	0.7	-0.4
21	りょうちく支部	4	1.4	8	2.7	1.3
	不明	3	1.0	0	0.0	-1.0
	サンプル数(%ベース)	296	293	301	301	8.0

4.所属支部		(SA)								
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%	所属会員数	会員構成比	回収率	回収数 ランキング	回収率 ランキング	
1	東支部	12	4	4	259	11.8%	4.6%	10	21	
2	福博支部	13	4.3	4.3	99	4.5%	13.1%	9	13	
3	博多支部	49	16.3	16.3	172	7.8%	28.5%	1	3	
4	中央支部	15	5	5	135	6.2%	11.1%	7	15	
5	西支部	14	4.7	4.7	116	5.3%	12.1%	8	14	
6	南支部	25	8.3	8.3	159	7.3%	15.7%	3	6	
7	筑紫支部	12	4	4	82	3.7%	14.6%	10	10	
8	福友支部	33	11	11	341	15.6%	9.7%	2	16	
9	青年支部	5	1.7	1.7	78	3.6%	6.4%	17	18	
10	玄海支部	20	6.6	6.6	113	5.2%	17.7%	5	5	
11	かすや支部	9	3	3	48	2.2%	18.8%	14	4	
12	糸島支部	3	1	1	48	2.2%	6.3%	20	19	
13	北九州支部	18	6	6	132	6.0%	13.6%	6	12	
14	ひびき支部	10	3.3	3.3	67	3.1%	14.9%	13	9	
15	のおがた支部	24	8	8	54	2.5%	44.4%	4	1	
16	飯塚支部	9	3	3	65	3.0%	13.8%	14	11	
17	田川支部	5	1.7	1.7	32	1.5%	15.6%	17	7	
18	久留米支部	11	3.7	3.7	72	3.3%	15.3%	12	8	
19	大牟田支部	4	1.3	1.3	69	3.1%	5.8%	19	20	
20	有明支部	2	0.7	0.7	24	1.1%	8.3%	21	17	
21	りょうちく支部	8	2.7	2.7	27	1.2%	29.6%	16	2	
	不明	0		0						
	N (%ベース)	301	301	100	2192		13.7%			

	%	サンプル数	製造業 (生産財)	製造業 (消費財)	建設業 (建築)	建設業 (土木)	建設業 (設備)	商業・流通業	サービス業 (対事業所)	サービス業 (対個人)
合計		301	7.6	5.6	11.0	3.7	4.7	10.3	33.9	23.3
本社地区										
福岡地区		207	3.9	3.9	11.1	4.3	4.8	10.1	39.6	22.2
北九州地区		27	18.5	11.1	18.5	3.7	0.0	11.1	22.2	14.8
筑豊地区		35	14.3	5.7	5.7	0.0	5.7	11.4	17.1	40.0
県南地区		25	16.0	12.0	8.0	4.0	8.0	4.0	24.0	24.0
福岡県外		7	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	28.6	28.6	0.0
従業員数規模										
0名~5名		121	3.3	2.5	9.9	2.5	3.3	11.6	43.0	24.0
6名~10名		64	10.9	4.7	20.3	3.1	9.4	6.3	21.9	23.4
11名~20名		40	7.5	15.0	10.0	5.0	2.5	15.0	27.5	17.5
21名~30名		26	11.5	11.5	0.0	7.7	3.8	3.8	26.9	34.6
31名~50名		17	11.8	5.9	17.6	5.9	5.9	11.8	17.6	23.5
51名~100名		17	23.5	5.9	0.0	5.9	5.9	11.8	29.4	17.6
100名以上		16	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	12.5	62.5	18.8

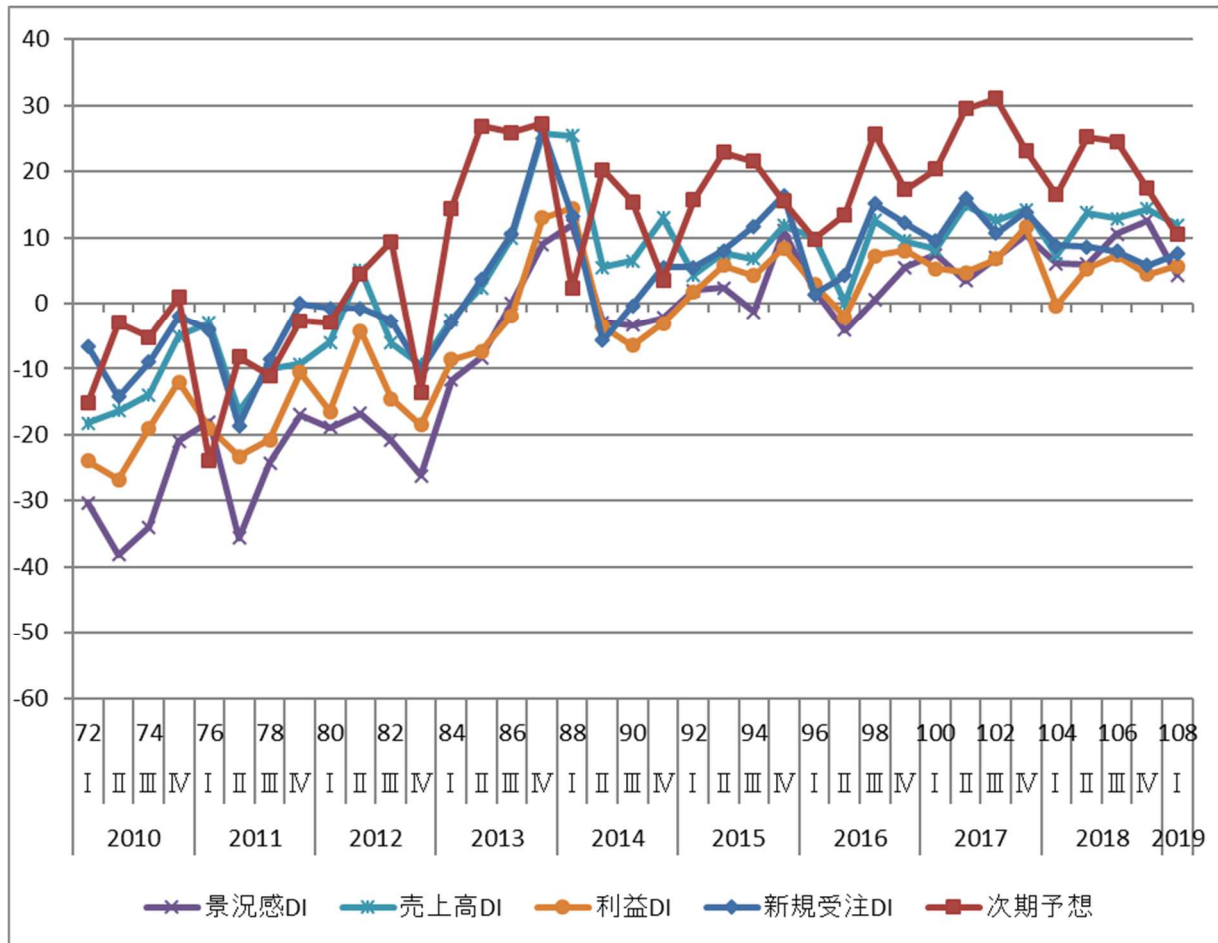
2 全体の景況判断

(ア) 全体の景況感

景況感各種 DI(よい-悪い)の状況はどうなっているか

景況感 DI は過去 10 年最高の前回から急低下したがプラス域は 11 期連続維持、次期予想は三期連続低下した。

全体の推移



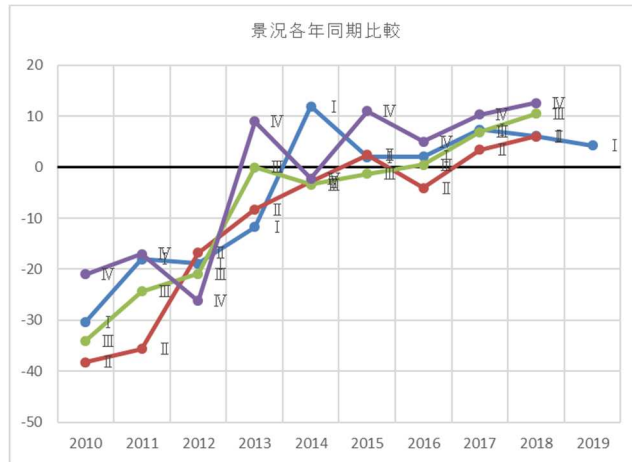
	今回数値	前回からの変動
景況感 DI	4.3	-8.3
売上高 DI	11.9	-2.4
利益 DI	5.7	1.3
新規受注 DI	7.5	1.7
次期予想 DI	10.4	-7.0

年	月	回	回収数	景況感DI	売上高DI	利益DI	新規受注DI	次期予想	資金繰りDI
2010	I	72	432	-30	-18	-24	-7	15.2	-17
	II	73	535	-38	-16	-27	-14	-3	-21
	III	74	485	-34	-14	-19	-9	-5.2	-18
	IV	75	426	-21	-5	-12	-2	0.9	-15
2011	I	76	349	-18	-3	-19	-4	-24	-28
	II	77	398	-36	-16	-23	-19	-8.2	-11
	III	78	374	-24	-10	-21	-9	-11	-13
	IV	79	341	-17	-9	-11	0	-2.7	-10
2012	I	80	338	-19	-6	-17	-1	-3	-8
	II	81	437	-17	5	-4	-1	4.5	-6
	III	82	502	-21	-6	-15	-3	9.4	-15
	IV	83	357	-26	-9	-19	-10	13.6	-16
2013	I	84	420	-12	-3	-9	-3	14.4	-16
	II	85	378	-8	2	-7	4	26.9	-8
	III	86	284	0	10	-2	11	25.9	1
	IV	87	290	9	26	13	26	27.3	0
2014	I	88	300	12	25	14	13	2.3	0
	II	89	319	-3	6	-4	-6	20.3	-6
	III	90	294	-3	7	-7	0	15.4	0
	IV	91	319	-2	13	-3	6	3.5	-1
2015	I	92	359	2.0	4.3	1.7	5.5	15.7	-2.0
	II	93	298	2.4	7.6	5.8	8.0	22.9	7.4
	III	94	386	-1.3	6.7	4.2	11.7	21.5	-2.6
	IV	95	355	11.0	11.8	8.4	16.4	15.5	3.9
2016	I	96	424	2.1	10.0	2.9	1.4	9.8	未調査
	II	97	347	-4.1	0	2.1	4.2	13.5	10.0
	III	98	449	0.5	12.6	7.2	15.1	25.7	6.3
	IV	99	382	5.5	9.5	8	12.2	17.2	5.0
2017	I	100	287	7.4	8.2	5.3	9.5	20.4	未調査
	II	101	409	3.4	14.9	4.7	16	29.5	6.9
	III	102	442	6.9	12.6	6.7	10.6	31	5.7
	IV	103	355	10.3	14.2	11.6	13.8	23.2	12.2
2018	I	104	358	6.1	7.3	+0.3	8.8	16.5	5.9
	II	105	382	6	13.7	5.3	8.6	25.2	9.5
	III	106	273	10.5	12.9	7.3	7.9	24.5	10.7
	IV	107	296	12.6	14.3	4.4	5.8	17.4	4.1
2019	I	108	301	4.3	11.9	5.7	7.5	10.4	1.0

2014以前は四捨五入
 ※ 資金繰りDIは73回より5段階評価

景況感は現況判断のため、前年同期比較すると以下のような推移となっている。

	I	II	III	IV
2010	-30	-38	-34	-21
2011	-18	-36	-24	-17
2012	-19	-17	-21	-26
2013	-12	-8.3	0	9
2014	12	-3	-3	-2
2015	2	2	-1	11
2016	2	-4	0	5
2017	7.4	3.4	6.9	10.3
2018	6.1	6	10.5	12.6
2019	4.3			



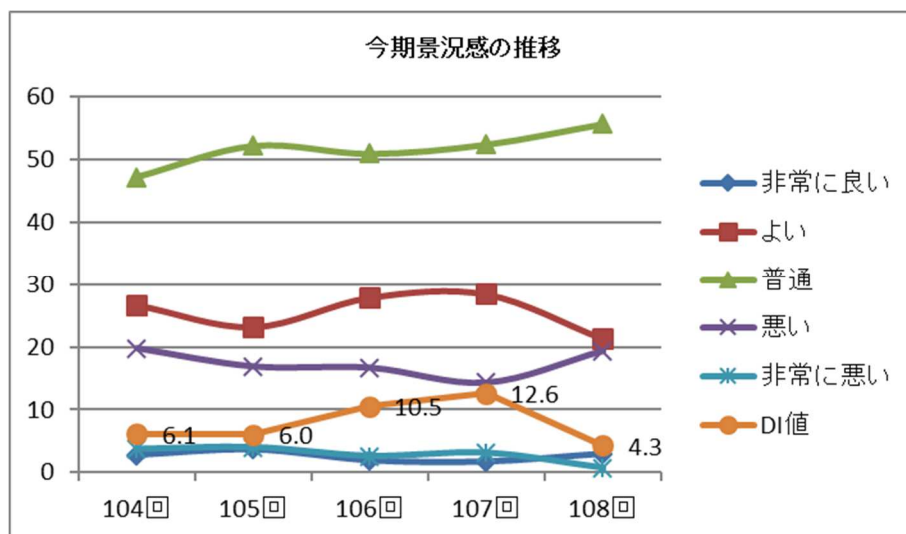
(イ) 各項目の状況

今期景況感 DI

2019年1～3月期の貴社の景況判断はいかがでしたか。

景況感は過去10年で最高となった前回から8.3pt低下して4.3ptとなった。

5. 今期景況判断		第107回	DI値	12.6	第108回	DI値	4.3	-8.3
No.	カテゴリ	件数	(除不)%		件数	(除不)%		増減
1	非常に良い	5	1.7	30.1	9	3	24.3	+1.3
2	よい	83	28.4		64	21.3		-7.1
3	普通	153	52.4	52.4	167	55.7	55.7	+3.3
4	悪い	42	14.4	17.5	58	19.3	20	+4.9
5	非常に悪い	9	3.1		2	0.7		-2.4
	不明	4			1			
	サンプル数(%ベース)	296	292		301	300		8



もともと高く表れる傾向があるIV期に対してI期は減少が予想されたが、プラス域は11期連続維持し、過去23期中18期プラス域となっている。

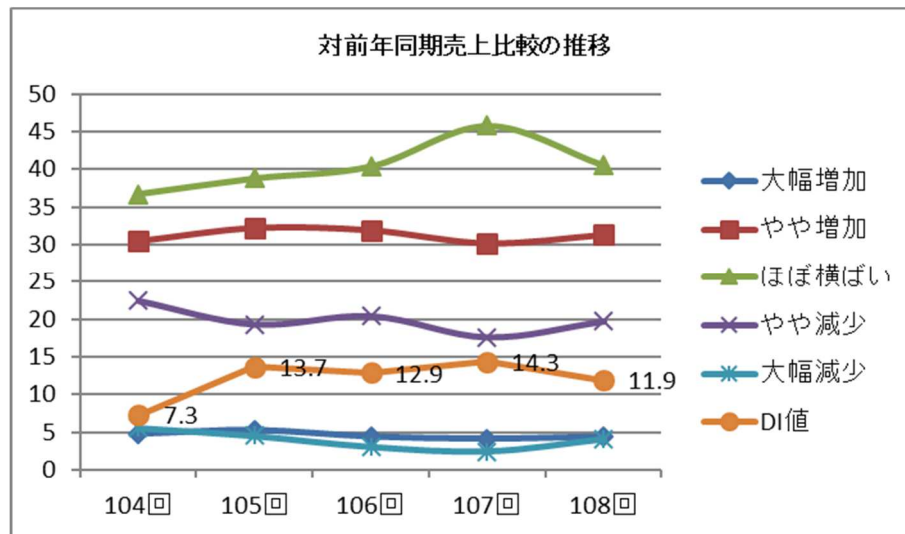
変化としては「よい」が減少、「悪い」が増加しているが、「普通」が3.3pt増加して55.7%となっており、最近五回において増加傾向にある。

売上高DI

2019年1～3月期の貴社の「売上高」について、前年同期(2018年1～3月)に比較してお答えください。

前々回並みの水準に戻り、前回107回に特徴があったことが裏付けられた。

6.対前年同期売上高比較		第107回	DI値	14.3	第108回	DI値	11.9	-2.4
No.	カテゴリ	件数	(除不)%		件数	(除不)%		増減
1	大幅増加	12	4.1	34.3	13	4.4	35.7	+0.3
2	やや増加	89	30.2		92	31.3		+1.1
3	ほぼ横ばい	135	45.8	45.8	119	40.5	40.5	-5.3
4	やや減少	52	17.6		58	19.7		+2.1
5	大幅減少	7	2.4	20	12	4.1	23.8	+1.7
	不明	1			7			
	サンプル数(%ベース)	296	295		301	294		-1



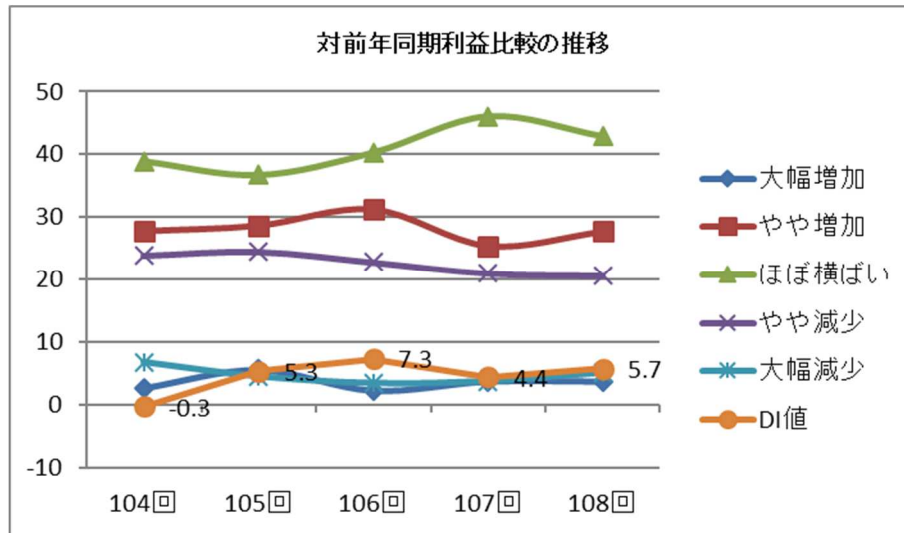
景況理由 pickup「売上」(行塗りは景況感別、以下同)	
1	1月に取引先閉店により減少したものの、去年取引先増加により売上に起因。
2	得意先の後継者不在による廃業、末端消費減少による受注減があり、新規が入っても売り上げ・利益が増加するまでには至らない。
3	暖冬の影響で季節商品の売り上げが伸びなかった。
4	スタッフ減少により売上減だが、結果自分が稼働することになり利益は増加
5	紙メディアの売上減少のスピードが早まった。Webでカバーができない。
6	前年度は、年度末に売上が集中したが、今年度は年度初めに受注が集中したために年度末には売上も減少したため。また今年度は、年度末の受注が前年度に比較して大幅に減っているため。

利益 DI

2019年1～3月期の貴社の「利益」について、前年同期((2018年1～3月)に比較してお答えください。

105回から小波を繰り返しつつ横ばい傾向にある

7.対前年同期利益比較		第107回	DI値	4.4	第108回	DI値	5.7	+1.3
No.	カテゴリ	件数	(除不)%		件数	(除不)%		増減
1	大幅増加	11	3.7	29.1	11	3.7	31.4	+0.0
2	やや増加	75	25.4		82	27.7		+2.3
3	ほぼ横ばい	136	46.1	46.1	127	42.9	42.9	-3.2
4	やや減少	62	21		61	20.6		-0.4
5	大幅減少	11	3.7	24.7	15	5.1	25.7	+1.4
	不明	1			5			
	サンプル数(%ベース)	296	295		301	296		1



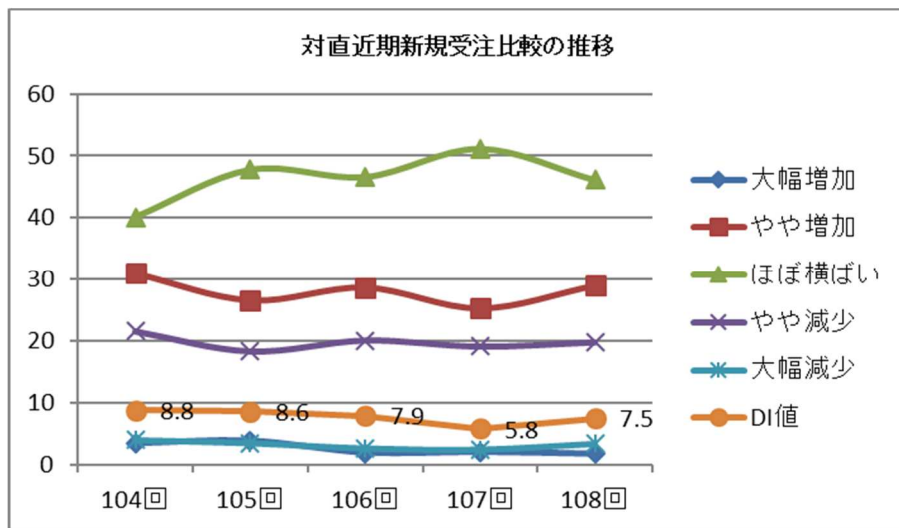
	景況理由 pickup「益」
1	益率を上げた。
2	消費税UPによる駆け込み受注。資材や労賃のUPによる利益の減少
3	得意先の後継者不在による廃業、末端消費減少による受注減があり、新規が入っても売り上げ・利益が増加するまでには至らない。
4	新規開拓利益率改善
5	仕事依頼が多く外注に出すため利益率が悪い。
6	営業活動不足の影響で減収となっている。一方、設計製作段階で材料の変更と数量の見直し等、工夫により減収に対し増益となっている。
7	スタッフ減少により売上減だが、結果自分が稼働することになり利益は増加
8	外注比率の向上で利益が少なくなったから。
9	運送会社の運賃値上げで利益が大幅に減少
10	もっと収益の増加を見込んでいたが新規受注が予定より増えなかったから。

新規受注 DI

2019年1～3月期の貴社の「新規受注」について、直近期(2018年10～12月期)に比較してお答えください。

「やや増加」と「ほぼ横ばい」で揺れつつDI値が7前後で安定的になっている。

8.対直近期新規受注比較		第107回	DI値	5.8	第108回	DI値	7.5	+1.7
No.	カテゴリ	件数	(除不)%		件数	(除不)%		増減
1	大幅増加	6	2	27.3	5	1.7	30.7	-0.3
2	やや増加	74	25.3		85	29		+3.7
3	ほぼ横ばい	150	51.2	51.2	135	46.1	46.1	-5.1
4	やや減少	56	19.1		58	19.8		+0.7
5	大幅減少	7	2.4	21.5	10	3.4	23.2	+1.0
	不明	3			8			
	サンプル数(%ベース)	296	293		301	293		0



	景況理由 pickup「受注」
1	改修工事受注増
2	前年1-3月期が悪かったが今期は元に戻った。新規受注は直近期に大型案件の受注があったため。全般的に平均すると概ね良好な状況。
3	消費税UPによる駆け込み受注。資材や労賃のUPによる利益の減少
4	新規開拓や営業活動強化により、良い物件の受注が増加した。
5	年度末工事受注のため
6	受注が安定してきたため。
7	大きな新規案件の受注
8	継続(リピート)受注
9	半導体関連向けスポット受注案件が昨年より増えた。従来のプラント向け案件についても昨年までに比べ仕事が出てきており、受注につながったものとする。
10	計画では8月以降に受注増になる施策を講じているため。

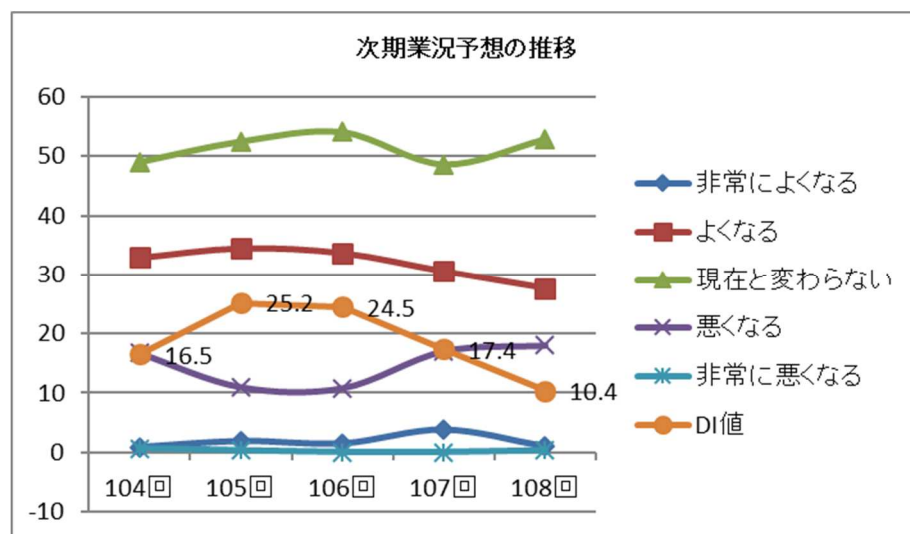
11	役所(役場)からの受注減、民間からの受注増。見積り依頼増、確定物件有。
12	得意先の後継者不在による廃業、末端消費減少による受注減があり、新規が入っても売り上げ・利益が増加するまでには至らない。
13	年度末の駆け込み受注かと
14	い井形改修工事を受注した為。
15	他社との競合による受注減のため
16	ISO27001 取得による受注機会の増加
17	受注が少なかった。
18	もっと収益の増加を見込んでいたが新規受注が予定より増えなかったから。
19	前年度は、年度末に売上が集中したが、今年度は年度初めに受注が集中したために年度末には売上也減少したため。また今年度は、年度末の受注がが前年度に比較して大幅に減っているため。
20	新規物件については人手不足のため積極的営業はしていない、またスポット業務の受注が減少している
21	広告費を増やしたので受注は増えた

次期予想 DI

2019年1～3月期の貴社の業況をどのように予想されていますか。

二期連続で7pt減となったが、前回と異なり「現在と変わらない」の増加に向かっている。

10.次期業況予想		第107回	DI値	17.4	第108回	DI値	10.4	-7.0
No.	カテゴリ	件数	(除不)%		件数	(除不)%		増減
1	非常によくなる	11	3.8	34.4	3	1	28.7	-2.8
2	よくなる	88	30.6		80	27.7		-2.9
3	現在と変わらない	140	48.6	48.6	153	52.9	52.9	+4.3
4	悪くなる	49	17	17	52	18	18.3	+1.0
5	非常に悪くなる	0	0		1	0.3		+0.3
	不明	8			12			
	サンプル数(%ベース)	296	288		301	289		1

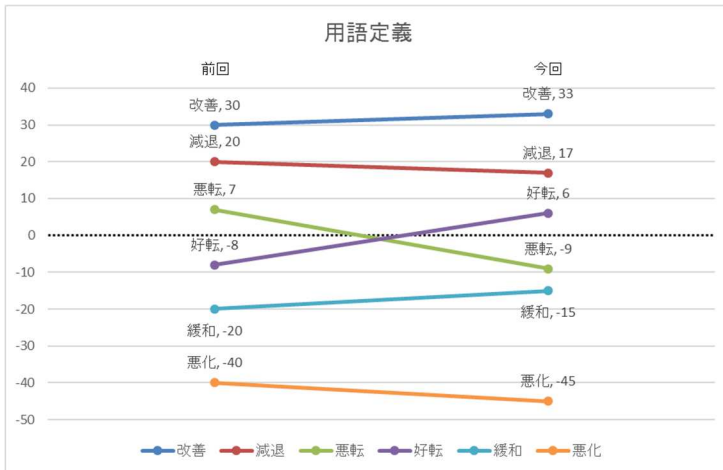


前回は「現在と変わらない」という回答が減少、「悪くなる」が増加していたが、今回は、「悪くなる」は微増、「現在と変わらない」が増加している。

いずれにしても「よくなる」は連続して減少しており、いまだ悲観的ではないにしても、楽観ムードの減退がみられる。

3 主要指標のクロス分析

			DI値増加	DI値減少		
説明	DI値が正	改善の回答が多い	改善増進	改善減退	0か負から正	好転
	DI値が負	悪化の回答が多い	悪化緩和	悪化	0か正から負	悪転



本クロス分析では「よい」-「悪い」の差である DI 値を前回数値と比較した変動と合わせて評価している。

以下の表中カッコ内は前回との差であり太字は前回 DI 値から符号反転したことを示している。

DI 値がプラスである場合はよい回答が多いことを示しているため、前回より値が減少してもプラスである限りは全体の趨勢としてはまだ良であることを表している。

(ア) 景況感別の動向

景況感の良し悪しはその他の指標とどのような関係にあったか

景況感が「よい」「普通」「悪い」のそれぞれにおいて売上、利益、新規受注の各 DI は前回より改善しており、特に「普通」においては利益・新規受注は好転となっている。

	第108回	景況件数	景況DI構成比	売上高DI値	利益DI値	新規受注DI値	次期予想DI値	件単位
有効回答数		300	100%	293	295	292	288	
今期景況感	非常に良い	9	3%(1.3)	77.8(-22.2)	100(0)	33.3(-6.7)	50(10)	11.1
	よい	64	21.3%(-7.1)	79(4.3)	66.1(1.1)	55.6(3.7)	4.8(-34.7)	1.6
	普通	167	55.7%(3.3)	8.5(0.6)	5.4(6.7)	9.9(9.9)	20.6(10.5)	0.6
	悪い	58	19.3%(4.9)	-58.9(19.6)	-71.4(16.7)	-53.6(6)	-14(-14)	1.7
	非常に悪い	2	0.7%(-2.4)	-100(-44.4)	-100(-22.2)	-100(-44.4)	-50(-50)	50.0

(イ) 業種別の動向

業種別の各指標の状況はどのようなであったか

景況 DI が改善したのはサービス業（対個人）のみで、他はすべて減退もしくは悪化している。とくに製造業において悪転がみられたほか、建築、商業も受注が悪転している。

第108回	景況件数	景況DI	売上DI	利益DI	受注DI	次期予想DI	件単位	
クロス回答数		300(9)	294(0)	296(2)	293(0)	289(2)		
全体	301	4.3(-8.4)	11.9(-2.7)	5.7(1)	7.5(1.7)	10.4(-7)	0.3	
業種	製造業(生産財)	23	0(-42.1)	0(-52.6)	-17.4(-54.2)	0(-36.8)	4.3(-29)	4.3
	製造業(消費財)	17	-17.6(-12.4)	-31.3(-31.3)	-5.9(9.1)	-5.9(-10.9)	-5.9(14.1)	5.9
	建設業(建築)	33	6.1(-27.3)	9.1(-10.3)	6.1(-0.4)	-9.4(-22.3)	3.2(-38.7)	3.0
	建設業(土木)	11	27.3(-15.6)	40(25.7)	0(-28.6)	27.3(27.3)	27.3(-15.6)	9.1
	建設業(設備)	14	7.1(-26.2)	14.3(7.6)	28.6(15.2)	28.6(8.6)	-7.7(-29.1)	7.1
	商業・流通業	31	-3.2(-0.1)	0(6.3)	-6.7(12.1)	-13.3(-13.3)	12.9(-16.4)	3.2
	サービス業(対事業所)	102	8.9(-4.2)	25.8(8.8)	14.9(4.8)	12(8)	17.5(-4.7)	1.0
	サービス業(対個人)	70	2.9(2.9)	8.6(-5.7)	4.5(4.5)	16.7(19.5)	21.2(12.5)	1.4

(ウ) 従業員規模別の動向

従業員規模の大小は各指標でどのような差が表れたか

前回悪転した 0~5 名の層は今回は好転したが、他の層では多くの指標が減退や悪転がみられる。

第108回	景況件数	景況DI	売上DI	利益DI	受注DI	次期予想DI	件単位	
クロス回答数		300(9)	294(0)	296(2)	293(1)	289(2)		
全体	301	4.3(-8.4)	11.9(-2.4)	5.7(1.3)	7.5(1.3)	10.4(-7)	0.3	
従業員規模	0名~5名	121	0.8(6.5)	9.6(11.6)	9.3(17.9)	6.7(10.6)	16.5(4)	0.8
	6名~10名	64	0(-22)	15.6(-7.3)	6.3(-10)	14.8(1.6)	14.5(-9.2)	1.6
	11名~20名	40	0(-9.1)	2.5(-11.5)	2.5(4.8)	-10.3(-12.6)	15.4(-32.5)	2.5
	21名~30名	26	11.5(-27.7)	7.7(-20.9)	-3.8(-32.4)	7.7(-3)	20(-5.9)	3.8
	31名~50名	17	11.8(-2.5)	5.9(-0.8)	-5.9(0.8)	-11.8(-25.1)	5.9(-27.5)	5.9
	51名~100名	17	5.9(-15.9)	23.5(-9.8)	17.6(5.1)	26.7(10)	-6.3(-6.3)	5.9
	100名以上	16	37.5(-6.9)	37.5(-1.4)	0(-17.6)	31.3(9)	20(-3.5)	6.3

(エ) 本社地区別の動向

地区別ではどのような状況であったか

福岡地区は利益 DI が好転するなど良好であったが北九州で悪転、県南も大幅な悪転、筑豊は利益 DI が悪転するなどしたが受注のみ改善している。

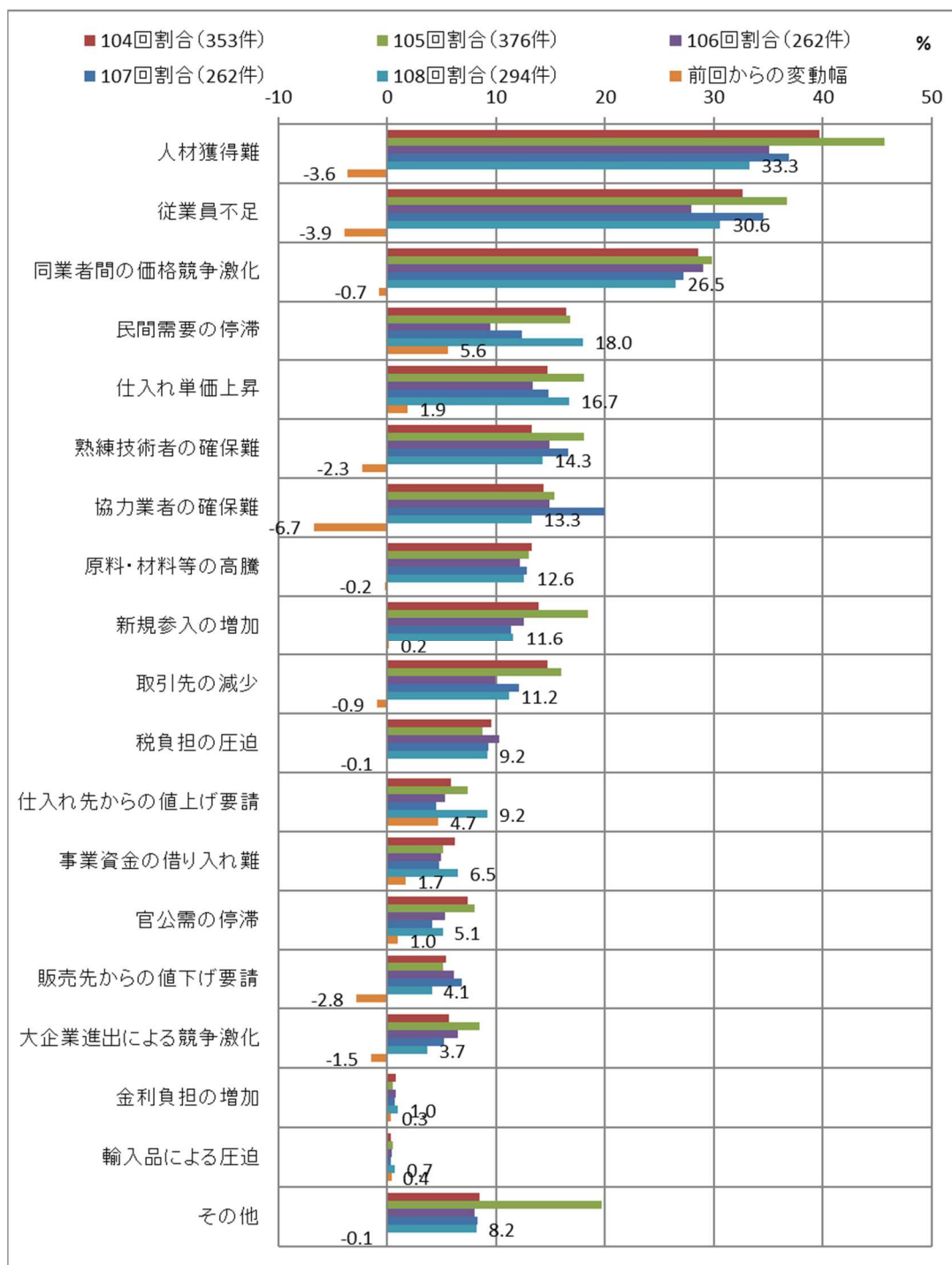
第108回	景況件数	景況DI	売上DI	利益DI	受注DI	次期予想DI	件単位	
クロス回答数		300(8)	294(-1)	296(1)	293(0)	289(1)		
全体	301	4.3(-8.3)	11.9(-2.3)	5.7(1.3)	7.5(1.7)	10.4(-7)	0.3	
本社地区	福岡地区	207	10.2(1)	18.8(8.7)	12.4(12.4)	10.9(6.8)	11.2(-4.4)	0.5
	北九州地区	27	11.1(-28.3)	-4(-26.9)	-7.4(-16)	-7.7(-4.8)	0(-6.1)	3.7
	筑豊地区	35	11.4(-18.3)	17.1(-9.9)	0(-21.6)	15.2(6.8)	20.6(-10)	2.9
	県南地区	25	-36(-45.5)	-36(-40.8)	-24(-24)	-8(-41.3)	0(-19)	4.0
	福岡県外	7	0(0)	14.3(-45.7)	0(-50)	14.3(-14.3)	14.3(-45.7)	14.3

4 経営上の問題点

貴社において、現在の経営上の問題点の内、特に厳しいもの3項目までを選んでご回答ください。

※106回より「3項目を」から「3項目まで」に変更。

「人材獲得難」「従業員不足」「協力業者の確保難」が減少、「民間需要の停滞」「仕入れ先からの値上げ要請」が増加している。



■問題点自由回答

	経営上の問題点その他	5.今期景況判断	1.業種	3.本社所在地	2.従業員数
1	資材確保	よい	製造業(生産財)	筑豊	6名~10名
2	社員の健康問題	よい	サービス業(対事)	福岡	6名~10名
3	定着、一体感	よい	サービス業(対事)	福岡	6名~10名
4	内的要因として、積極的営業マインドが弱い。	よい	サービス業(対事)	福岡	11名~20名
5	人材育成	普通	製造業(消費財)	福岡	11名~20名
6	物流費の増加	普通	商業・流通業	福岡	0名~5名
7	知名度不足、実績不足のため	普通	サービス業(対事)	福岡	0名~5名
8	新規獲得不足	普通	サービス業(対事)	福岡	0名~5名
9	新規申込が増加していない	普通	サービス業(対人)	福岡	0名~5名
10	集客難、商品販売力	普通	サービス業(対人)	福岡	0名~5名
11	従業員の入れ替わり。	普通	サービス業(対人)	福岡	21名~30名
12	マーケティング不足	悪い	サービス業(対事)	福岡	0名~5名

本社地区別の経営上の問題点						
%	全体	福岡地区	北九州地区	筑豊地区	県南地区	福岡県外
回答件数	294	202	26	35	24	7
人材獲得難	33.3	34.2	38.5	25.7	37.5	14.3
従業員不足	30.6	27.2	46.2	25.7	41.7	57.1
同業者間の価格競争激化	26.5	28.2	15.4	31.4	25.0	0.0
協力業者の確保難	18.0	17.3	19.2	11.4	33.3	14.3
熟練技術者の確保難	16.7	16.8	11.5	17.1	16.7	28.6
仕入れ単価上昇	14.3	13.9	19.2	11.4	20.8	0.0
原料・材料等の高騰	13.3	10.4	26.9	8.6	25.0	28.6
民間需要の停滞	12.6	10.9	11.5	11.4	20.8	42.9
取引先の減少	11.6	13.9	3.8	8.6	8.3	0.0
新規参入の増加	11.2	9.9	11.5	14.3	12.5	28.6
税負担の圧迫	9.2	8.4	7.7	14.3	12.5	0.0
販売先からの値下げ要請	9.2	7.4	23.1	14.3	0.0	14.3
大企業進出による競争激化	6.5	6.9	11.5	5.7	0.0	0.0
事業資金の借り入れ難	5.1	5.0	3.8	2.9	8.3	14.3
仕入れ先からの値上げ要請	4.1	4.0	0.0	11.4	0.0	0.0
官公需の停滞	3.7	4.0	0.0	8.6	0.0	0.0
金利負担の増加	1.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0
輸入品による圧迫	0.7	0.5	0.0	2.9	0.0	0.0
その他	8.2	8.9	3.8	11.4	4.2	0.0

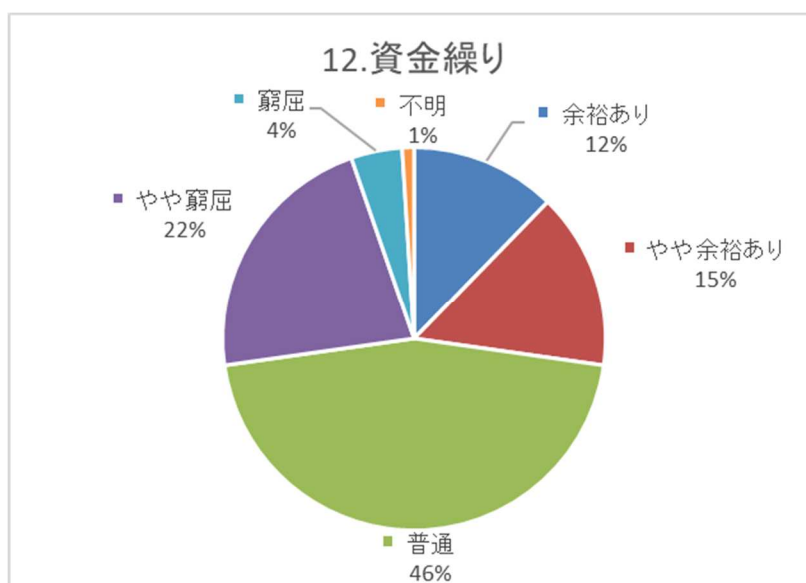
各業種別回答数に対するパーセント
色付きセルは業種別の上位五項目

業種別の経営上の問題点									
%	全体	製造業 (生産財)	製造業 (消費財)	建設業 (建築)	建設業 (土木)	建設業 (設備)	商業・ 流通業	サービス業 (対事業所)	サービス業 (対個人)
回答件数	294	23	17	31	11	14	31	100	67
人材獲得難	33.3	34.8	29.4	38.7	36.4	28.6	32.3	30.0	37.3
従業員不足	30.6	30.4	47.1	41.9	45.5	28.6	19.4	25.0	32.8
同業者間の価格競争激化	26.5	21.7	11.8	25.8	18.2	21.4	32.3	30.0	26.9
協力業者の確保難	18.0	21.7	29.4	9.7	18.2	21.4	22.6	23.0	7.5
熟練技術者の確保難	16.7	21.7	17.6	22.6	18.2	35.7	41.9	7.0	10.4
仕入れ単価上昇	14.3	30.4	23.5	16.1	27.3	21.4	6.5	11.0	10.4
原料・材料等の高騰	13.3	17.4	11.8	38.7	27.3	14.3	0.0	15.0	1.5
民間需要の停滞	12.6	34.8	35.3	16.1	27.3	0.0	22.6	4.0	6.0
取引先の減少	11.6	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	16.1	11.0	23.9
新規参入の増加	11.2	4.3	17.6	12.9	0.0	7.1	16.1	14.0	7.5
税負担の圧迫	9.2	13.0	11.8	19.4	9.1	21.4	9.7	6.0	4.5
販売先からの値下げ要請	9.2	8.7	5.9	9.7	9.1	7.1	3.2	9.0	13.4
大企業進出による競争激化	6.5	0.0	5.9	3.2	9.1	7.1	9.7	8.0	6.0
事業資金の借り入れ難	5.1	8.7	5.9	3.2	18.2	14.3	3.2	6.0	0.0
仕入れ先からの値上げ要請	4.1	8.7	0.0	9.7	0.0	0.0	3.2	6.0	0.0
官公需の停滞	3.7	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	3.2	5.0	6.0
金利負担の増加	1.0	4.3	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0
輸入品による圧迫	0.7	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5
その他	8.2	4.3	5.9	0.0	0.0	0.0	6.5	12.0	11.9
各業種別回答数に対するパーセント 色付きセルは業種別の上位五項目									

5 その他の調査項目

(ア) 資金繰り

12.資金繰り		(SA)			
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%	資金繰りDI
1	余裕あり	37	12.4	12.3	1.0
2	やや余裕あり	45	15.1	15	
3	普通	137	46	45.5	
4	やや窮屈	66	22.1	21.9	
5	窮屈	13	4.4	4.3	
	不明	3		1	
	N (%ベース)	301	298	100	

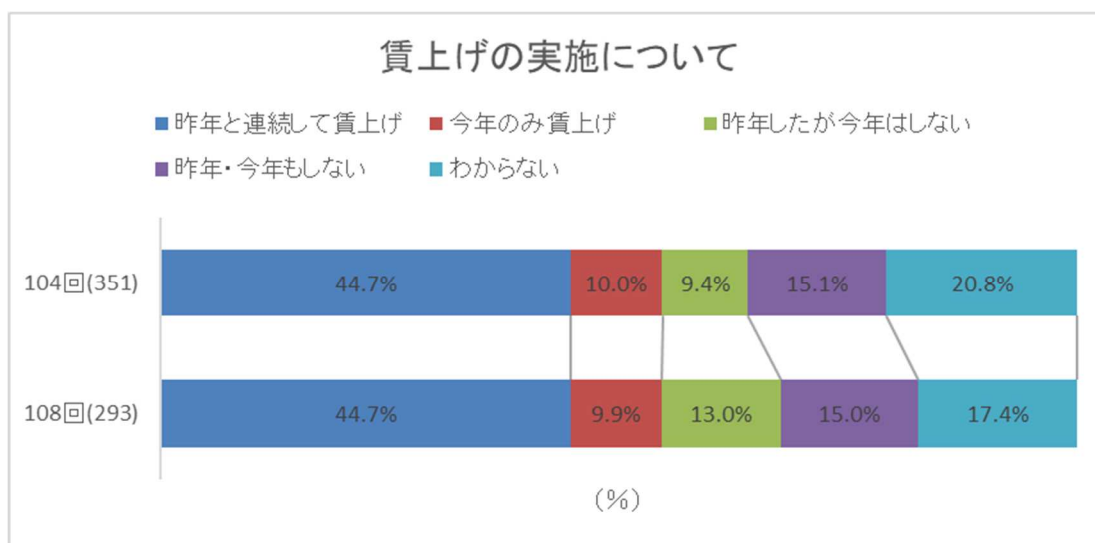


資金繰りDI値は1.0で連続低下しているが、全体では約3/4弱は問題ない状態である。

(イ) 賃上げについて

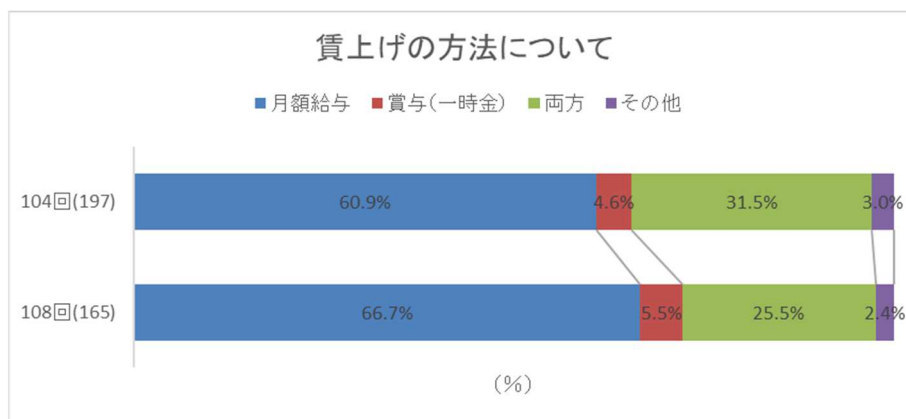
13.賃上げについて		(SA)		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	昨年と連続して賃上げ	131	44.7	43.5
2	今年のみ賃上げ	29	9.9	9.6
3	昨年したが今年はしない	38	13	12.6
4	昨年・今年もしない	44	15	14.6
5	わからない	51	17.4	16.9
	不明	8		2.7
	サンプル数(%ベース)	301	293	100

前年同期(104回)と比較して「今年はしない」という回答が増加している。



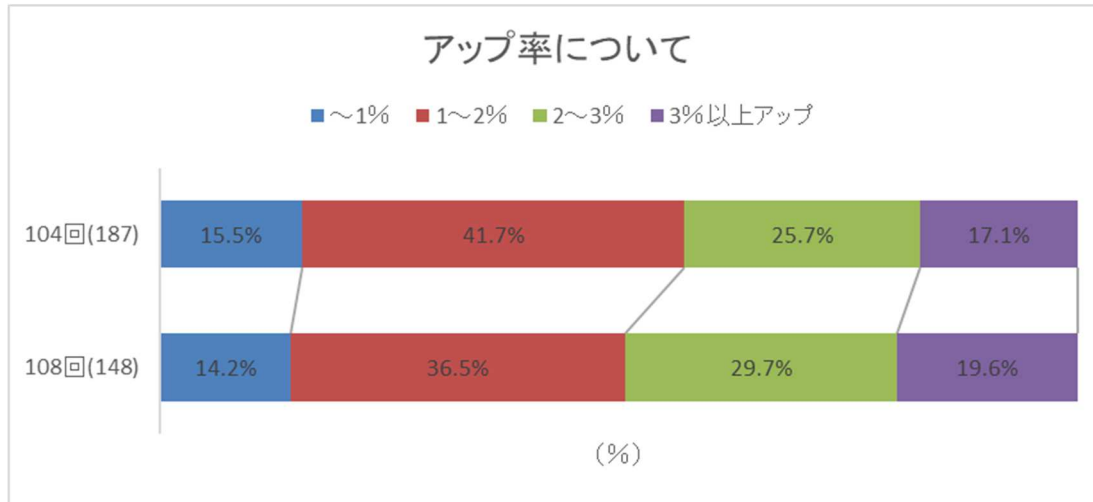
14.賃上げの方法		(SA)		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	月額給与	110	66.7	36.5
2	賞与(一時金)	9	5.5	3
3	両方	42	25.5	14
4	その他	4	2.4	1.3
	不明	136		45.2
	サンプル数(%ベース)	301	165	100

前年同期に比べ月額給与の賃上げによるという回答が増回している



15.賃上げアップ率		(SA)		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	～1%	21	14.2	7
2	1～2%	54	36.5	17.9
3	2～3%	44	29.7	14.6
4	3%以上アップ	29	19.6	9.6
	不明	153		50.8
	サンプル数(%ベース)	301	148	100

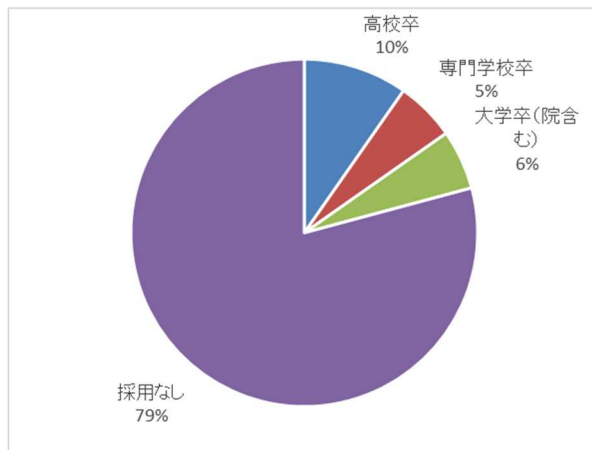
アップ率については前年同期とくらべ高めにシフトしている。



(ウ) 採用について

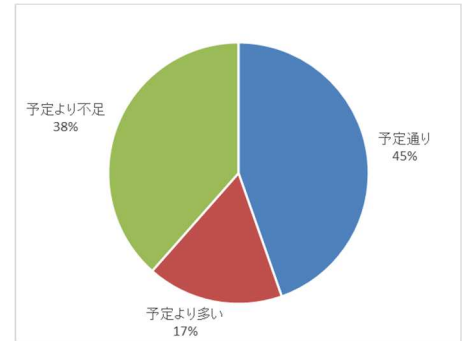
16.新卒採用状況		(SA)		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	高校卒	28	9.7	9.3
2	専門学校卒	16	5.6	5.3
3	大学卒(院含む)	16	5.6	5.3
4	採用なし	228	79.2	75.7
	不明	13		4.3
	サンプル数(%ベース)	301	288	100

「採用なし」が最も多く、次いで「高校卒」が多かった。



18.採用人数適正度		(SA)		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	予定通り	29	44.6	9.6
2	予定より多い	11	16.9	3.7
3	予定より不足	25	38.5	8.3
	不明	236		78.4
	サンプル数(%ベース)	301	65	100

予定通り、予定より多いを合わせると62%であった。



なお自由回答による採用状況を回答者属性別に集計すると以下の通りであった。

従業員規模	人数のみ	高校	専門	大学	中途
0名～5名					
6名～10名	4			2	
11名～20名	8	1		2	
21名～30名	5	6	1		
31名～50名	6	1		2	
51名～100名	6	3	3	5	1
100名以上	4	5	4	5	
総計	33	16	8	16	1

業種	人数のみ	高校	専門	大学	中途
製造業(生産財)	4	4		1	
製造業(消費財)	1	5			
建設業(建築)	6		1	2	
建設業(土木)	3	2	1		
建設業(設備)					1
商業・流通業	4		1	3	
サービス業(対事)	8	1	5	7	
サービス業(対人)	7	4		3	
総計	33	16	8	16	1

地区	人数のみ	高校	専門	大学	中途
福岡	22	10	6	11	1
北九	3	1		1	
筑豊	3	4		1	
県南	2	1	2	3	
県外	3				
総計	33	16	8	16	1

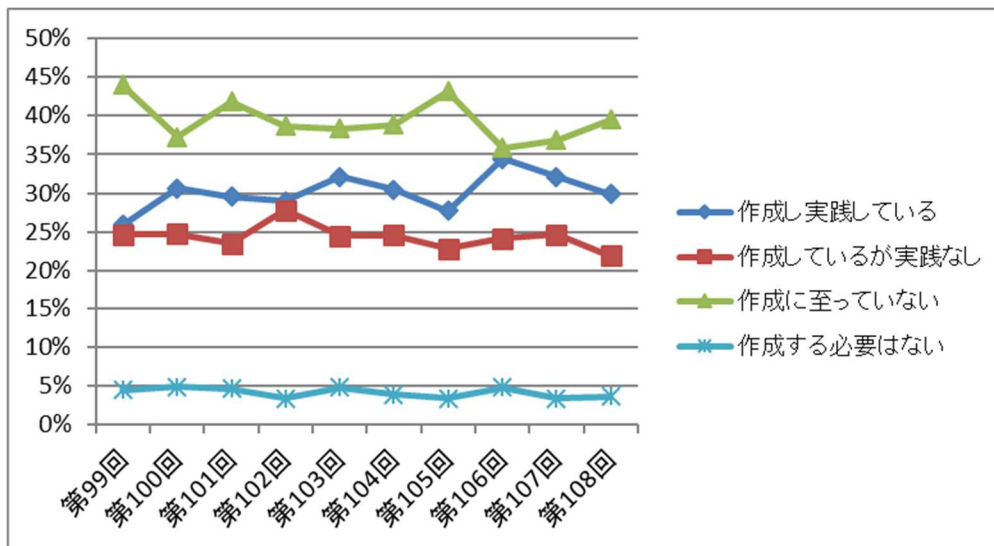
6 経営指針書について

作成の状況

経営指針書を作成していますか。また、指針書に基づいた経営を実践していますか。

作成・実践においてそれぞれ悪化がみられる。

No.	経営指針書の作成と実践 カテゴリ	第107回		第108回		増減
		件数	(除不)%	件数	(除不)%	
1	作成し実践している	95	33.1	90	31.5	-1.6
2	作成しているが実践なし	73	25.4	66	23.1	-2.3
3	作成に至っていない	109	38	119	41.6	3.6
4	作成する必要はない	10	3.5	11	3.8	0.3
	不明	9		15	0	
	サンプル数(%ベース)	296	287	301	286	-1



検証状況

「作成し実践している」と回答された方にお尋ねします。毎月、検証(チェック)していますか。

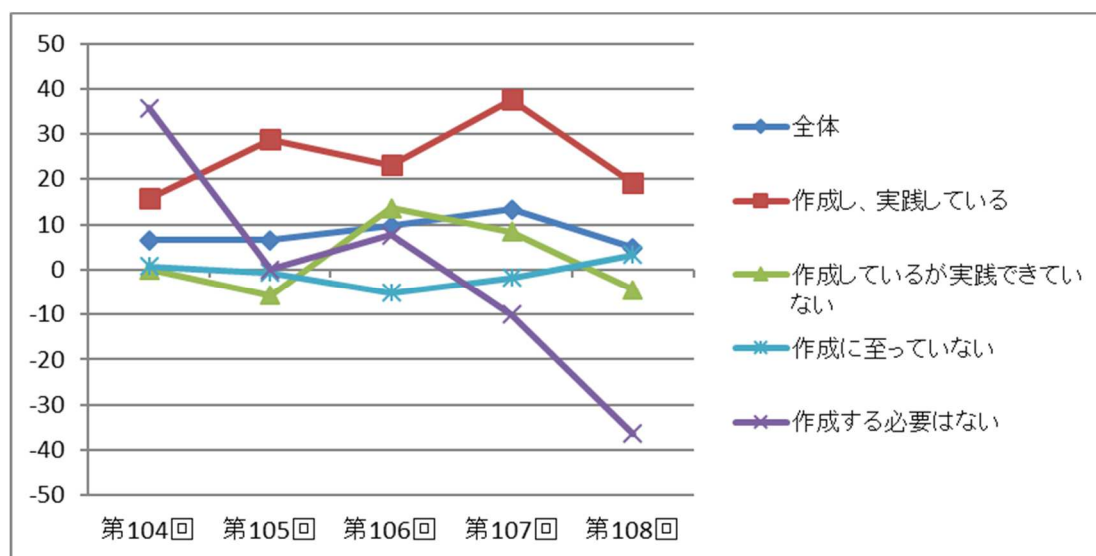
実践している企業のほぼ 99%は一定の頻度で検証している。

17.経営指針書の検証について		(SA)		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	毎月検証している	37	39.8	12.3
2	毎月ではないが検証している	37	39.8	12.3
3	年に1回は検証している	18	19.4	6
4	全く検証していない	1	1.1	0.3
	不明	208		69.1
	N (%ベース)	301	93	100

経営指針書の成果

経営指針書の活用は今期景況感の回答にどのように関係しているか

過去5回分について作成状況別に景況 DI を見ると、作成し、実践している企業は景況感が高く、景況感の悪化にも抵抗力があることが分かる。



7 自由回答項目

(ア) 景況理由

	9.景況判断理由	5.今期景況判断	1.業種	3.本社所在地	2.従業員数
1	役割分担した結果	非常に良い	製造業(生産財)	北九	0名～5名
2	営業努力	非常に良い	建設業(建築)	福岡	11名～20名
3	益率を上げた。	非常に良い	建設業(建築)	福岡	31名～50名
4	改修工事受注増	非常に良い	建設業(設備)	福岡	6名～10名
5	1月に取引先閉店により減少したものの、去年取引先増加により売上に起因。	非常に良い	サービス業(対事)	福岡	0名～5名
6	繁忙期のため。	非常に良い	サービス業(対人)	筑豊	100名以上
7	消費税増税前の年度末で	よい	製造業(生産財)	福岡	0名～5名
8	営業努力	よい	製造業(生産財)	福岡	51名～100名
9	既存顧客への巻き返しと同業者の廃業による影響。	よい	製造業(消費財)	福岡	21名～30名
10	年末から年度末にかけて建物の引渡が多くなるので、その直前に当社は忙しくなるため。	よい	建設業(建築)	福岡	6名～10名
11	前年1-3月期が悪かったが今期は元に戻った。新規受注は直近に大型案件の受注があったため。全般的に平均すると概ね良好な状況。	よい	建設業(建築)	福岡	11名～20名
12	消費税UPによる駆け込み受注。資材や労賃のUPによる利益の減少	よい	建設業(建築)	福岡	100名以上
13	昨年末からの仕事が完成し、未入金分がこの時期に振り込まれる為。	よい	建設業(建築)	筑豊	0名～5名
14	新規開拓や営業活動強化により、良い物件の受注が増加した。	よい	建設業(土木)	福岡	11名～20名
15	年度末工事受注のため	よい	建設業(土木)	福岡	11名～20名
16	30年度の見積もり依頼が多かったのが31年度に繁栄した物と思われます	よい	建設業(設備)	福岡	0名～5名
17	営業力	よい	商業・流通業	福岡	0名～5名
18	天候	よい	商業・流通業	福岡	0名～5名
19	新規販促手法の改善(PDCA)と競合他社の影響	よい	商業・流通業	福岡	6名～10名
20	設備投資がまだまだ続いている。	よい	商業・流通業	筑豊	51名～100名
21	受注が安定してきたため。	よい	サービス業(対事)	福岡	0名～5名

22	大きな新規案件の受注	よい	サービス業(対事)	福岡	0名~5名
23	営業方針を転換	よい	サービス業(対事)	福岡	0名~5名
24	人の紹介	よい	サービス業(対事)	福岡	0名~5名
25	昨年から種まきした成果が出てきた	よい	サービス業(対事)	福岡	0名~5名
26	継続(リピート)受注	よい	サービス業(対事)	福岡	6名~10名
27	ユーザーの掘り起こしを行ったため	よい	サービス業(対事)	福岡	11名~20名
28	・福岡地区の天神ビックバンなど市場の動きが出てきているため、建設機械のレンタル需要も高まっている。・昨年より営業に力を入れて動いているので、少しずつ成果が出てきていると思う。	よい	サービス業(対事)	福岡	51名~100名
29	特になし	よい	サービス業(対事)	福岡	100名以上
30	変化なし	よい	サービス業(対事)	県外	11名~20名
31	質の向上、HP揭示ミスの修正。	よい	サービス業(対人)	福岡	0名~5名
32	基本料の増額があったため。	よい	サービス業(対人)	福岡	0名~5名
33	設立からまだ3年目のため。	よい	サービス業(対人)	福岡	6名~10名
34	1月より、営業体制を強化し、法人営業を強化した。	よい	サービス業(対人)	福岡	6名~10名
35	営業努力	よい	サービス業(対人)	北九	0名~5名
36	消費税増税前の駆け込み需要	よい	サービス業(対人)	筑豊	6名~10名
37	来院数の増加	よい	サービス業(対人)	筑豊	21名~30名
38	2018年12月から好転。プラス基調で推移している。	よい	サービス業(対人)	県南	31名~50名
39	公共事業予算の減少が考えられる	普通	製造業(生産財)	福岡	21名~30名
40	事業部ごとで業績を補完し合っているためほぼ横ばいになっている。	普通	製造業(生産財)	福岡	51名~100名
41	業界の環境は特段変化はない。紙材料の値上げはありました。	普通	製造業(生産財)	福岡	51名~100名
42	半導体関連向けスポット受注案件が昨年より増えた。従来のプラント向け案件についても昨年までに比べ仕事が出てきており、受注につながったものとする。	普通	製造業(生産財)	北九	11名~20名
43	年度末での予算消化で一部仕事が増えたが、取引先の状況が全体的に良くないように感じる。	普通	製造業(生産財)	筑豊	6名~10名
44	昨年は新企画のOEM商品が立ち上がった時期で、注文が増えた為	普通	製造業(生産財)	県南	0名~5名
45	景気は必ずしもよくない中で、当社なりの営業活動が功を奏した。	普通	製造業(生産財)	県南	51名~100名
46	外注比率の向上で利益が少なくなったから。	普通	製造業(生産財)	県外	31名~50名
47	今年度の営業成果が功を奏した。	普通	製造業(消費財)	福岡	11名~20名
48	昨年に比べて、早期発注物件があり、第4四半期に集中しなかった。	普通	製造業(消費財)	福岡	21名~30名

49	営業活動不足の影響で減収となっている。一方、設計製作段階で材料の変更と数量の見直し等、工夫により減収に対し増益となっている。	普通	製造業(消費財)	福岡	31名～50名
50	消費が減った。	普通	製造業(消費財)	筑豊	0名～5名
51	わかりません	普通	製造業(消費財)	筑豊	6名～10名
52	SNSの活用	普通	製造業(消費財)	県南	0名～5名
53	1～3月は大型工事が減少し小型工事でバタバタした。	普通	建設業(建築)	福岡	0名～5名
54	営業活動の頻度	普通	建設業(建築)	福岡	6名～10名
55	特に新たな事はしていないので	普通	建設業(建築)	福岡	6名～10名
56	計画では8月以降に受注増になる施策を講じているため。	普通	建設業(建築)	県外	6名～10名
57	仕事依頼が多く外注に出すため利益率が悪い。	普通	建設業(土木)	福岡	6名～10名
58	人手不足のため、積極的に営業ができない。	普通	建設業(土木)	福岡	51名～100名
59	既存の顧客が多いので。	普通	建設業(設備)	福岡	6名～10名
60	役所(役場)からの受注減、民間からの受注増。見積り依頼増、確定物件有。	普通	建設業(設備)	福岡	6名～10名
61	人員増に伴い仕事量増加	普通	建設業(設備)	福岡	6名～10名
62	設備投資の企業が出てきたため	普通	建設業(設備)	県南	21名～30名
63	HPからの問い合わせ	普通	商業・流通業	福岡	0名～5名
64	スタッフ間の連携を高めるべく指導にあたった結果と感じてます。	普通	商業・流通業	福岡	11名～20名
65	暖冬の影響で季節商品の売上げが伸びなかった。	普通	商業・流通業	福岡	51名～100名
66	景気の停滞。	普通	商業・流通業	北九	11名～20名
67	原油価格や為替の影響。	普通	商業・流通業	筑豊	31名～50名
68	得意先の後継者不在による廃業、末端消費減少による受注減があり、新規が入っても売上げ・利益が増加するまでには至らない。	普通	商業・流通業	県南	6名～10名
69	電力との連系成約確定に伴うコンサル料入金他	普通	商業・流通業	県外	0名～5名
70	暖冬の影響、仕入れ単価の値上	普通	商業・流通業	県外	21名～30名
71	顧客数が増えたため	普通	サービス業(対事)	福岡	0名～5名
72	起業間もないので苦戦しています。	普通	サービス業(対事)	福岡	0名～5名
73	年度末の駆け込み受注かと	普通	サービス業(対事)	福岡	0名～5名
74	事業の性質	普通	サービス業(対事)	福岡	0名～5名
75	新規顧客獲得不足。	普通	サービス業(対事)	福岡	0名～5名
76	前期継続物件を納品したから。	普通	サービス業(対事)	福岡	0名～5名

77	昨年設立した会社で、まだ本格的な動きを行っていない。	普通	サービス業(対事)	福岡	0名～5名
78	新たな施策を実施していないため	普通	サービス業(対事)	福岡	0名～5名
79	維年度末に業務が集中したため	普通	サービス業(対事)	福岡	0名～5名
80	営業不足？	普通	サービス業(対事)	福岡	6名～10名
81	営業力強化、人員増	普通	サービス業(対事)	福岡	31名～50名
82	計画どおり	普通	サービス業(対事)	福岡	100名以上
83	い井形改修工事を受注した為。	普通	サービス業(対事)	福岡	100名以上
84	他社との競合による受注減のため	普通	サービス業(対事)	福岡	100名以上
85	取り引き先の増加。	普通	サービス業(対事)	福岡	100名以上
86	前年とあまり変わっていない	普通	サービス業(対事)	北九	11名～20名
87	行政の規制により官庁関係の仕事が取りにくくなったから	普通	サービス業(対事)	北九	100名以上
88	普通	普通	サービス業(対事)	県南	11名～20名
89	秋のシーズン中に、1～4月のセールスが出来なかった事が影響している。既存の顧客中心になってしまった。	普通	サービス業(対事)	県南	21名～30名
90	災害関連の影響あり	普通	サービス業(対事)	県南	51名～100名
91	北九州や東京に営業所が出来て新しい販路が拡大できているから	普通	サービス業(対事)	県外	6名～10名
92	新規営業を行っていないため	普通	サービス業(対人)	福岡	0名～5名
93	スタッフ減少により売上減だが、結果自分が稼働することになり利益は増加	普通	サービス業(対人)	福岡	0名～5名
94	他社との差別化。	普通	サービス業(対人)	福岡	0名～5名
95	新規事業を行ったので。	普通	サービス業(対人)	福岡	0名～5名
96	ISO27001取得による受注機会の増加	普通	サービス業(対人)	福岡	6名～10名
97	新規事業の立ち上げの為	普通	サービス業(対人)	福岡	11名～20名
98	知名度が上がった	普通	サービス業(対人)	福岡	11名～20名
99	人材確保。	普通	サービス業(対人)	福岡	21名～30名
100	医療保険・介護保険上の定員まで利用しているため。	普通	サービス業(対人)	福岡	51名～100名
101	基本的にこの時期は忙しい時期。消費税の上がるまえでもう少し忙しくなってもいいはず。	普通	サービス業(対人)	北九	0名～5名
102	特になし	普通	サービス業(対人)	筑豊	0名～5名
103	事業所を新たに開設したため。	普通	サービス業(対人)	筑豊	11名～20名
104	販促による若干の効果が見られた	普通	サービス業(対人)	県南	31名～50名
105	新規開拓利益率改善	普通	サービス業(対人)	県南	51名～100名

106	この半年間、開発中心(R&D)になっているため。	悪い	製造業(生産財)	北九	0名～5名
107	半導体関連企業からの需要減少。	悪い	製造業(生産財)	県南	11名～20名
108	受注が少なかった。	悪い	製造業(生産財)	県南	21名～30名
109	把握できていません。	悪い	製造業(消費財)	福岡	51名～100名
110	取引先があまり増えていない。	悪い	製造業(消費財)	北九	11名～20名
111	暖冬による影響	悪い	製造業(消費財)	県南	11名～20名
112	不明	悪い	製造業(消費財)	県外	11名～20名
113	わからない	悪い	建設業(建築)	福岡	0名～5名
114	もっと収益の増加を見込んでいたが新規受注が予定より増えなかったから。	悪い	建設業(建築)	福岡	6名～10名
115	アベノミクスが良くない	悪い	建設業(建築)	福岡	6名～10名
116	人材不足	悪い	建設業(建築)	福岡	11名～20名
117	前年度は、年度末に売上が集中したが、今年度は年度初めに受注が集中したために年度末には売上也減少したため。また今年度は、年度末の受注が前年度に比較して大幅に減っているため。	悪い	建設業(設備)	筑豊	31名～50名
118	あまり良くない。	悪い	商業・流通業	福岡	0名～5名
119	個人消費の伸び悩み	悪い	商業・流通業	福岡	0名～5名
120	消費動向悪化、顧客の高齢化。	悪い	商業・流通業	北九	11名～20名
121	消費の低迷(顧客減少)	悪い	サービス業(対事)	福岡	0名～5名
122	中国・韓国経済の景気動向の下降状況が数値に表れている	悪い	サービス業(対事)	福岡	0名～5名
123	集客強化	悪い	サービス業(対事)	福岡	6名～10名
124	行政による規制、業界へのしめつけの為	悪い	サービス業(対事)	福岡	6名～10名
125	行政による規制	悪い	サービス業(対事)	福岡	6名～10名
126	紙メディアの売上減少のスピードが早まった。Webでカバーができない。	悪い	サービス業(対事)	福岡	21名～30名
127	運送会社の運賃値上げで利益が大幅に減少	悪い	サービス業(対事)	福岡	51名～100名
128	人員減	悪い	サービス業(対事)	北九	0名～5名
129	事業以外の活動が多くなり、本業を圧迫している	悪い	サービス業(対事)	北九	0名～5名
130	現場の景況感はよくない	悪い	サービス業(対事)	県南	0名～5名
131	新規物件については人手不足のため積極的営業はしていない、またスポット業務の受注が減少している	悪い	サービス業(対事)	県南	100名以上
132	分かりません。	悪い	サービス業(対人)	福岡	0名～5名

133	広告費を増やしたので受注は増えた	悪い	サービス業(対人)	福岡	0名~5名
134	消費の冷え込み。突然の国税の方針転換。	悪い	サービス業(対人)	福岡	6名~10名
135	既存顧客からの需要が減少	悪い	サービス業(対人)	福岡	6名~10名

(イ) 新卒採用状況

	17.新卒採用の内容	5.今期景況判断	1.業種	3.本社所在地	2.従業員数
1	1名	非常に良い	建設業(建築)	福岡	11名~20名
2	2名	非常に良い	建設業(建築)	福岡	31名~50名
3	高卒4名 大卒10名	非常に良い	サービス業(対人)	筑豊	100名以上
4	4人	よい	製造業(生産財)	福岡	51名~100名
5	高校卒 3名	よい	製造業(消費財)	福岡	21名~30名
6	専門学校1名、大学4名	よい	建設業(建築)	福岡	100名以上
7	大卒2名	よい	建設業(建築)	福岡	11名~20名
8	1名	よい	建設業(土木)	福岡	11名~20名
9	1名	よい	建設業(土木)	福岡	11名~20名
10	大卒2名	よい	商業・流通業	福岡	6名~10名
11	1名	よい	商業・流通業	筑豊	51名~100名
12	18	よい	サービス業(対事)	福岡	100名以上
13	2名	よい	サービス業(対事)	福岡	100名以上
14	大学卒3名	よい	サービス業(対事)	福岡	51名~100名
15	大学卒1名	よい	サービス業(対事)	福岡	6名~10名
16	1	よい	サービス業(対事)	福岡	6名~10名
17	1名	よい	サービス業(対事)	県外	11名~20名
18	1名	よい	サービス業(対人)	筑豊	11名~20名
19	高卒を3名採用しました。	普通	製造業(生産財)	福岡	21名~30名
20	4名	普通	製造業(生産財)	福岡	51名~100名
21	2~3名	普通	製造業(生産財)	福岡	51名~100名

22	高卒1名 大卒1名	普通	製造業(生産財)	県南	51名～100名
23	1名	普通	製造業(生産財)	県外	31名～50名
24	高卒1名	普通	製造業(消費財)	福岡	11名～20名
25	高卒1名	普通	製造業(消費財)	福岡	31名～50名
26	1名	普通	建設業(建築)	福岡	6名～10名
27	2名	普通	建設業(建築)	福岡	6名～10名
28	1名	普通	建設業(建築)	北九	31名～50名
29	1名	普通	建設業(建築)	県南	31名～50名
30	4人	普通	建設業(土木)	福岡	21名～30名
31	高卒2名 専門卒1名	普通	建設業(土木)	福岡	51名～100名
32	中途採用	普通	建設業(設備)	福岡	51名～100名
33	4	普通	商業・流通業	福岡	100名以上
34	4大卒2名	普通	商業・流通業	福岡	31名～50名
35	専門卒1名 男性大学卒1名 男性	普通	商業・流通業	福岡	51名～100名
36	1名	普通	商業・流通業	筑豊	31名～50名
37	1名	普通	商業・流通業	県外	21名～30名
38	専門学校卒1名、大学卒3名	普通	サービス業(対事)	福岡	100名以上
39	大学卒11名、専門学校卒2名、計13名	普通	サービス業(対事)	福岡	100名以上
40	4名	普通	サービス業(対事)	福岡	100名以上
41	3名	普通	サービス業(対事)	福岡	31名～50名
42	2名	普通	サービス業(対事)	福岡	51名～100名
43	大学卒5名 高校卒1名	普通	サービス業(対事)	北九	100名以上
44	女性経理事務1名	普通	サービス業(対事)	北九	11名～20名
45	専門学校卒1名	普通	サービス業(対事)	県南	21名～30名

46	大卒 2名 専門卒 1名	普通	サービス業(対事)	県南	51名~100名
47	採用、まだ募集中。	普通	サービス業(対人)	福岡	0名~5名
48	1名	普通	サービス業(対人)	福岡	11名~20名
49	大学院卒 1名	普通	サービス業(対人)	福岡	11名~20名
50	1名	普通	サービス業(対人)	福岡	21名~30名
51	1名	普通	サービス業(対人)	福岡	21名~30名
52	1名	普通	サービス業(対人)	福岡	21名~30名
53	1	普通	サービス業(対人)	福岡	6名~10名
54	大卒 2名	普通	サービス業(対人)	県南	31名~50名
55	2名	普通	サービス業(対人)	県南	51名~100名
56	1名	悪い	製造業(消費財)	北九	11名~20名
57	従業員ゼロ	悪い	サービス業(対事)	福岡	0名~5名
58	大学卒6名	悪い	サービス業(対事)	福岡	51名~100名